

結果発表!

加湿性能はこれからの乾燥シーズンに毎日使うものだから 下位機でも十分! 清潔さと使い勝手で差がついた!

順位	製品	総合 得点 /130pt	清潔性 /30pt	加湿性能 /25pt	消費電力 /10pt	機能性 /10pt	お手入れ /15pt	給水 /15pt	静音性 /10pt	操作性 /15pt	寸評
1位	象印マホービン 加熱式 EE-DB50 実勢価格:2万3326円	97	30	16	4	7	15	9	8	8	細菌、真菌ともに検出ゼロで衛生面は最強。静音性やタイマー機能も優秀で、寝室や仕事部屋などに最適
1位	シャープ ハイブリッド式 HV-L75 実勢価格:2万7270円	97	19	23	8	6	10	15	4	12	加湿性能や使いやすさなど、総合力はピカイチ。菌が繁殖しやすいので、定期的なお手入れは必要
3位	東芝 加熱式 KA-Y60 実勢価格:1万4535円	92	29	12	4	6	12	9	10	10	加湿ムラは大きいものの、清潔性は象印とほぼ互角でトップクラス。小型で持ち運びや給水がラクなものも
4位	パナソニック 気化式 FE-KXT07 実勢価格:3万1344円	90	16	15	10	8	14	9	6	12	本体操作や給水など、普段使いで便利さを感じる一台。加湿力も問題なく、部屋を均一に加湿できます
5位	カドー 超音波式 STEM630i 実勢価格:4万9800円	89	25	21	10	6	6	6	10	5	デザインに目を引かれますが、加湿力も清潔性も高評価。あとは操作性やお手入れがラクになれば完璧
6位	バルミューダ 気化式 Rain Wi-Fiモデル 実勢価格:5万600円	85	22	14	10	8	6	12	6	7	加湿ムラは少なく、衛生面も問題ないレベル。独特のお手入れや、Wi-Fi設定などの手間はややネック
7位	三菱重工冷熱 加熱式 SHE60TD 実勢価格:1万8360円	84	27	11	4	5	6	9	10	12	加熱式なので清潔性は優秀。加湿は強力ですが、ムラが大きすぎるため加湿しすぎないか不安……
8位	ダイソン 超音波式 Hygienic Mist 実勢価格:4万3780円	83	21	17	10	5	9	6	6	9	広くない部屋であれば、均一に適湿をキープ。操作はシンプル表示のリモコンのみで慣れるまでは戸惑う
8位	ダイニチ ハイブリッド式 HD-RX720 実勢価格:2万6180円	83	14	20	8	9	9	6	6	11	加湿性能は優秀でムラなく均一。ただ、大容量タンクは満水だと持ち運びが大変……
10位	コロナ ハイブリッド式 UF-H7219R 実勢価格:1万5200円	79	14	17	8	6	12	9	4	9	ハイブリッド式にしてはやや加湿ムラが大きめ。給水のしやすさなど使い勝手に不満が残るこの順位に……

部門別ベストの受賞はコチラ!

お手入れ

ベスト!

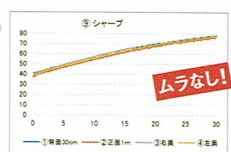


頻度の高いお手入れパーツはフタだけで、洗うのもラクチン。本体のクエン酸洗浄が1~2か月に1回と少ないのも

象印マホービン EE-DB50

加湿性能

ベスト!



恒温恒湿室で計測した4地点のすべてで均一な湿度上昇。平均湿度も約78%で加湿力もトップクラスでした

シャープ HV-L75

静音性

ベスト!

最強モード
[44.60dB]
暗騒音除外
[2.30dB]

静音性評価が高かった機種なかでも最優秀でした。図書館レベルの稼働音で睡眠時も邪魔になりません



東芝 KA-Y60

省エネ

ベスト!

30分稼働の実測値
【ほぼゼロ】

検証で30分稼働させたときの消費電力はワットモニターの検出限界以下でした。両機種とも気化式。この方式は省エネです



バルミューダ Rain Wi-Fiモデル

「清潔性」と「給水」で選ぶ
今回の検証を通して感じたのは、機種によって加湿性能にそこまで大差はないということ。どの機種も適湿と言われる「50~60%」までは上昇させていました。その一方、大きく違ったのは「清潔性」と「使い勝手」です。「清潔性」は、メーカーの想定を超える使い方でもテストしましたが、象印や東芝などの加熱式はダントツで優秀でした。細菌や真菌が気になる人は、気化式やハイブリッド式より加熱式がオススメです。気化式やハイブリッド式に多い大容量タンク搭載で湿度

が高くなると自動で加湿を止めるタイプは給水の頻度を少なくでき便利そうですが、水を継ぎ足しなから使うと細菌・真菌が繁殖しやすくなります。したがって、給水頻度を減らすより「給水」がラクな製品を選びべき。また、加湿器は製品ごとにタンク形状が異なり、これが給水しやすさに直結します。最もストレスなのが、水道に引っかけ直立できず、手で支えながら給水すること。適度なサイズ感のものや本体に直接注げるモデルは、実際に使ってみるとかなり便利。毎日使う加湿器では、清潔性や使い勝手も重視するのが正解です。